

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事務所やフロアに介護理念を張り出している			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を2か月に1回開催し、地域の方との情報共有に努めている。また、地域ボランティアに来ていただいている	「コロナ前までは行事に事前の案内をいただいていた」と職員さんはいう。「憩いカフェという地域の高齢者中心の集いの場がある」と民生委員さんから情報提供あり。また自治会長から「会愛会(あいあいかい)という65歳以上の方々が集う場がある」とのこと。参加を検討したいと施設側の意見があつた。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議にて利用者サービス状況について話し合いをしている	「2ヶ月に1回開催し、事業報告や質疑応答など行っている。家族全員に参加してもらうのがよいと考えている」と施設側より。「報告だけではなく、町内から防災訓練などの情報提供などもあり、地域と協力関係にあることがよくわかる」と行政より。民生さんから学校で目標があるように施設に目標はあるのですか?と質問などもあった。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に市町村の担当者に参加して頂いている	「運営推進会議でやりとりをしています」と施設より意見あり。人材確保の補助金などのやりとりをしていること。「内容によって電話やメール、郵送でもやりとりしている」と行政からも話があった。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止のためのマニュアル作成と定期的に勉強会を開催。職員の理解を深めている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	計画に沿って勉強会や委員会を開催されている。日ごろからスピーチロックに職場全体で気をつけている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルを作成し定期的な勉強会を開いている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に一回の勉強会や委員会を法人内の事業所と合同で開催されている。虐待とならないよう不適切なケアだと思われる時にはお互いに声をかけている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援制度については学ぶ機会が少ない			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結時に家族の意見を徵収し、疑問点についてしっかりと説明している			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の面会時に要望等を聞くようしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や電話で連絡したときに意見を聞くことが多い。家族の要望に応じ、リハビリメニューを中で張り出している。	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に二回職員ヒアリングを実施し職員からの意見を聞く機会を作っている			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に二回ヒアリングの施行と自己評価表を作成し、それを基に評価している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回、職員と責任者が面談する制度があり、意見を言える場を設けている。またハラスメントなど直接本部に連絡できるような直通QRコードも施設内に掲示してあるなど働きやすい環境にある。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月会社内の勉強会や外部研修に職員を派遣している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体で合同の勉強会を毎月開催している。また入社時にはOJT制度を導入しており、不安なくトレーニングできるようにしている。	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の管理者会議に外部の同業者に来ていただいたり、介護事業者連盟という団体の総会等に参加して外部業者との交流を深めている			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかげ、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おやつ作りやレクリエーションを通じてお互いの関係を築いていく			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会や外出にて家族など馴染の人たちとの関係を継続している	「外出や外泊など推奨しています」と施設は話す。 「近隣には 700 年続く神社があり、県内の神社の元締めのようなところがある。松明祭りなど毎年開催されています」と民生さんから情報提供あり。施設側は参加を検討するとのこと。「自由に外出できるのでありがたい」と家族は話されていた。		
----	------------------	---	--	------------------------------	---	--	--

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の希望や意向を微収してケアをしている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の意向を確認し、それを基に介護計画を作成している	「一年に 1 回更新しています。計画書作成のときにご家族からの意見を聞いていますので、気を使わずに意見をいってほしい」と施設より。「外出する機会などもあり、ありがとうございます。感謝しかないです。」と家族より意見があった。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	期間は 1 年で作成されている。毎月、職員ミーティングで利用者のケアについて話あっており、ミーティングの内容と家族の意向をもとにケアマネージャーが計画書を作成している。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子媒体を使用し日々の記録を残し、職員間で情報共有している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	タブレットで記録を入力するソフトを導入されており、日常の気づきなどは随時記録している。タブレットの台数も複数であり、いつでも閲覧できるようになっている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族との外出や食事など推奨している。個別の嗜好品を購入し、対応している	「個々の希望が多様化してきており、多機能化がおいついていない」と施設側は話す。自治会長より「買い物に困っている人をリストアップして対応しようと考えている」と話があり、施設としても移動スーパーの導入を検討していくと発言があった。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源の把握が足りていない	慰問などのボランティアの名簿があるとありがたい、と施設より意見が上がる「市としては把握していない」とのこと。いきいきクラブの講師を紹介できるかも、と民生さんから話があると会愛会(あいあいかい)の次年度のスケジュールが決まったらお伝えします、と自治会長より話があった。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にかかりつけ医を変更することなくかかりつけ医の受診を継続し、看護師から日々の状況を家族と医師に伝えている			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	退去時情報提供書を医療機関に提供し、退院に向け病院とこまめに連絡を取っている		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	利用者が入院された時はすぐに情報提供書を病院に送っている。また退院時には必ず病院に直接行き、状態などの確認を行うようしている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	契約時に書面にて重度化指針について説明しているが、最近では重度化したケースはない		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	条件が整い、希望であれば看とりを行うことを入居契約時に説明している。実際には看とりを希望されるケースはほとんどないとのこと。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	緊急時の対応やマニュアルの作成、AED の勉強会を行っている。今年1度、実際に使用する場面があったが、しっかり対応していた。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	火災、水害時の避難訓練を定期的に実施している	「小学校や中学校が避難指定場所になっているが、津波の際は間に合わないと思われるのどうしようかと思っている。」と施設から話があった。「町内でもその話をしており工場の2階に避難できないか」という話を進めている。希望ならその工場の見学もできる」とのこと。	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	年2回の火災避難訓練と水害の訓練を行っている。火災訓練のうち1回は消防署の立ち会いの下行われている。備蓄品も準備されているとのこと。
III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	職員間で日々お互い声をかけ意識し、定期的な勉強会にて認知症に対しての理解を深めている		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	認知症の勉強会で尊厳などの内容が含まれており、職員間で学ぶ機会がある。言葉使いにも気をつけ、また入浴や排泄時などできるだけ同性で介助するよう心がけている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	施設としての一日の流れは決まっているが、1人1人の体調を考慮し午睡の時間やレクエーションの時間を設けている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	家族から利用者の好みを聞き取ったり、利用者に食事後食器洗いや拭きとりの手伝いをお願いしている		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	レクリエーション食という好きなものを手作りで作って食べる日があり、希望のものが食べられるようしている。その際皮むきなどできることをやっている。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量、水分チェック表で日々の摂取状況を把握している 栄養状態が下がっている方に関しては、市販の栄養補助食品を提供している			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアの実施や毎日の義歯消毒を行ない、口腔内の清潔を保持している 利用者によっては口腔用のスポンジも使用している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後に必ず歯をみがいていただいている。自分で磨ける方は自分で磨いてもらっており、義歯用歯ブラシを使用されている方もいる。夜間は義歯洗浄剤で清潔の保持をされていた。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人1人の排泄パターンを把握し、随時トイレへの誘導をしている 下剤に頼らず水分摂取や棟内歩行や介護体操などを促し、便秘の予防をしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に排泄を記録する排泄表があり、それぞれのパターンで声かけや誘導を行っている。トイレだとわかりやすいよう張り紙をしたり、夜間にポータブルトイレを使用される方がいるなど自立への工夫をされている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の予定日は決めているが本人の意思を確認し拒否があれば翌日に入浴してもらっている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中の活動量を増やし、午睡の時間に気を付け昼夜逆転にならないように配慮をしている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師が主となり一人一人の薬情を職員が把握し、何かあれば医師に報告、相談している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の処方変更があった際は周知を徹底し、個別の薬BOXに付箋を貼って知らせるなどされている。提携の薬局も処方時に訪問してきており、いつも薬について聞ける環境にある。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれのフロアで嗜好は異なるが、運動や歌が好きな人が多いフロアでは介護体操や歌を、塗り絵や計算ドリルなどの脳トレなどが好きな方が多いフロアでは用紙などを提供している	「職員が利用者の持つ力を引き出して行くことが大切。そのためには信頼関係であり、それが社会を形成していく。たくさんしゃべって表情など観察する力が必要だと思う」と生さん。「今までの演歌や時代劇が好きな方だけではなく、洋楽とかさまざまなことが好きな時代に入っていく。そこに対応していくことが必要になってくる」と施設から意見があった。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節ごとのドライブや散歩、家族との外出をしてもらっている	「にいかわ牧場や koko くろべ、とちの湯や入善フラワーロードなどいろんなところにドライブに行ってます」と施設さんより。「YKK AP の技術館というところがあり面白いですよ」と自治会長さんから話があり、民生さんからは「美術館も面白いですよ」と情報提供があった。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の預かり金はあるが、本人には現金を所持してもらっていない			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族、本人ともに希望している状況では支援を行っている			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内は完全バリアフリー空間になっており、季節ごとの飾りつけをし、心地よい空間づくりに努めている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自然光が差し込む作りになっており、明るい雰囲気のスペースになっている。季節ごとに手作りの飾りを利用者と職員で作成し、壁面に飾っており季節も感じることができる空間になっている。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症があり明確に本人の意向を確認できない			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会にて友人関係の繋がりを継続し、入所前にしていた庭作業の代わりに玄関の花の水やりをしている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタル測定を行い、体調不良時にはかかりつけ医に情報の提供、受診をお願いしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関との連携が取れており、体調不良時など即座に対応できるようになっている。転倒しにくいよう移動動線上にものを置かないように気をつけている。

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができるいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメント時使用している暮らしのシートを基に今までの生活習慣を大事にしている			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室への持ち込むものに制限をせずに馴染みのあるものを居室に置いている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に持ち込みに制限はなく、自宅から馴染みのものを持参して欲しいと利用者家族にお伝えしている。なじみのヘアブラシや鏡など持込まれたり、家族の写真を飾るなど過ごしやすいようカスタマイズされている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望があれば家族に外出の依頼をしているが出来ていない事もある	「先ほどの項目であった通り、いろんなところに岡かけています」と施設より話がある。「受診の際に行きたいお店でごはんを食べることもあります」と家族も話されていた。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わざること・わからることを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態に合わせたレクリエーションや家事作業を提供している			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との会話や対利用者との会話を楽しんでいる		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食器を洗ってくれたりなど自分がやりたいことをやっている時間が日常ある。会話も職員とだけではなく、間にに入る役割を担い、利用者同士の会話につながるよう配慮もされている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設に地域ボランティアを呼び地域の人々との交流をしている	「14歳の挑戦の受け入れはされていますか?」と民生委員さんから質問がある。「受け入れするようになっているがなかなか学生さんが来ない。引き続き積極的に受け入れは考えている」と施設の回答あり。「以前富山型デイサービスに子供を預けたことがあり、高齢者、子供ともにとてもよいことだと感じた。赤ちゃんが施設に来るといいですね」と家族意見を述べていた。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の利用者や職員との共同生活を通して、安心、安全な日々を過ごしておられる	「今までの話で施設に課題もあるけれどできてるところがたくさんあると感じました。そしてこのような話し合いの場があることが大切だと思う」と行政談。「独居で元気がなくなっていた母が入居してから元気になった。よい日々を送っているのでいい顔になっているのだと思う。」と家族より。「このような他者評価してもらうことで自施設のことが再確認できた	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リハビリや外出支援に力を入れている。特にリハビリは取り組んだらシールをはってもらい、継続につなげている。身体機能を維持し元気で過ごしていけるよう取り組まれていた。

				<p>のではないか。実践につなげていけるようがんばってほしい」と民生さんからお話をあった。</p>		
--	--	--	--	---	--	--